An architectural sketch of a city plan, likely for Yokohama 22. The drawing is rendered in brown ink lines on a white background, with a light blue wash highlighting a central waterway and surrounding green spaces. The sketch shows a dense urban layout with various building footprints, streets, and a prominent waterway running through the center. Green circles represent trees or parks along the waterway and in other areas. The overall style is a detailed line drawing with a soft color wash.

# 第5回エキサイトよこはま22 懇談会

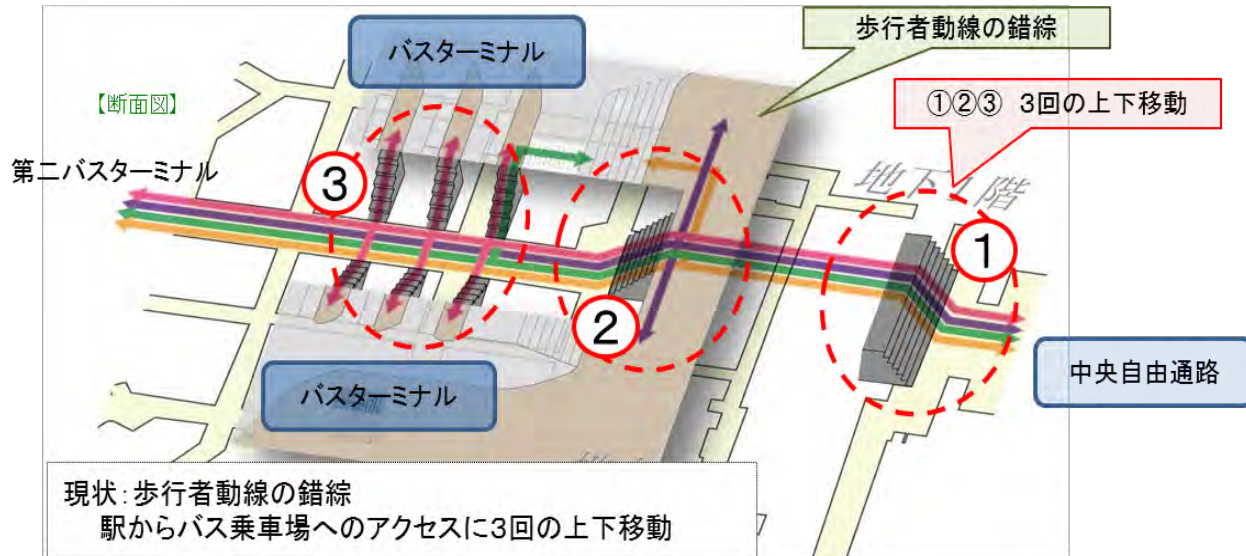
# 平成25年度の主な取組

- ① (仮称) 横浜駅西口駅ビル計画・・・・・・・・・・ (資料3)
- ② (仮称) 横浜駅西口駅ビルに関連した基盤整備
- ③ 鶴屋橋架け替え工事
- ④ インフラ基本計画の策定・・・・・・・・・・ (資料4)
- ⑤ 駐車場整備ルールの一部改正・・・・・・・・・・ (資料5)
- ⑥ 都市再生安全確保計画の策定・・・・・・・・・・ (資料6)
- ⑦ エリアマネジメントの取組
- ⑧ 国家戦略特区・・・・・・・・・・ (資料7)

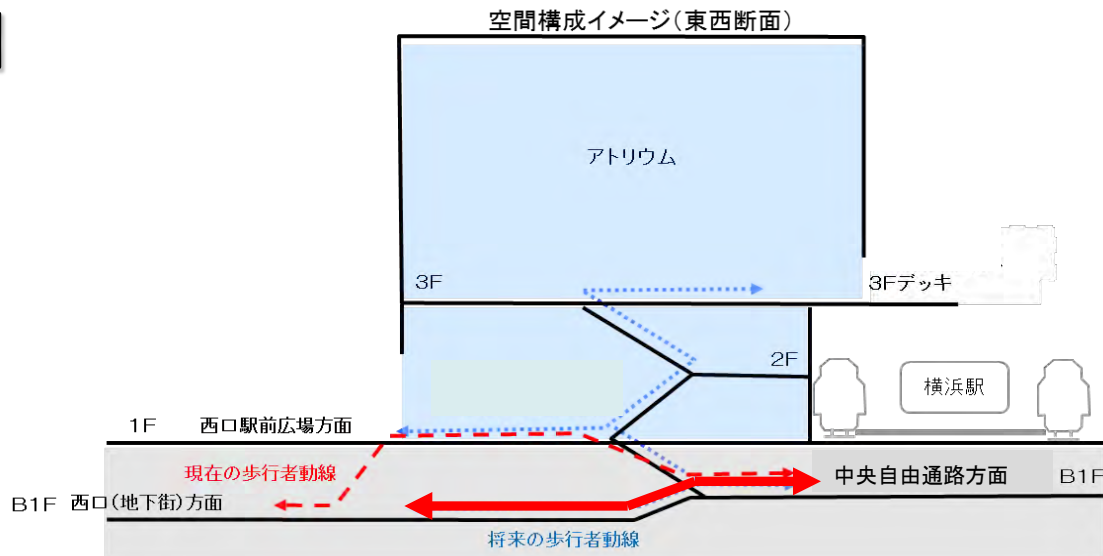
## ② (仮称) 横浜駅西口駅ビルに関連した基盤整備

### 西口地下中央通路接続事業 (馬の背の解消)

#### 【現況】



#### 【将来】



## ② (仮称) 横浜駅西口駅ビルに関連した基盤整備

### 西口駅前広場改修整備事業



※第1ステップとして西口駅ビル計画と連動した駅前広場の改修(歩行者空間の拡充)を進めます。  
※将来の駅前広場の拡充・再編については、関係者において検討会を立ち上げ検討を進めます。

# ③ 鶴屋橋架け替え工事

## ■現況および方向性

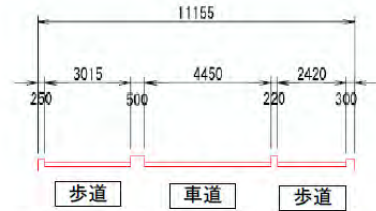


## ■期待される効果

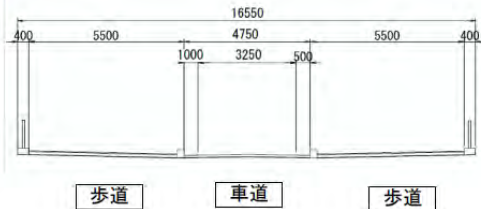
- (1) 鶴屋橋の橋梁撤去及び河口部の拡幅により、260m<sup>3</sup>/sから350m<sup>3</sup>となる
- (2) 鶴屋橋は1日（22時から7時までの深夜早朝を除く）に約5万人の歩行者が通行しており、混雑している状況が拡幅により円滑化される

## ■断面構成図

### (現況)

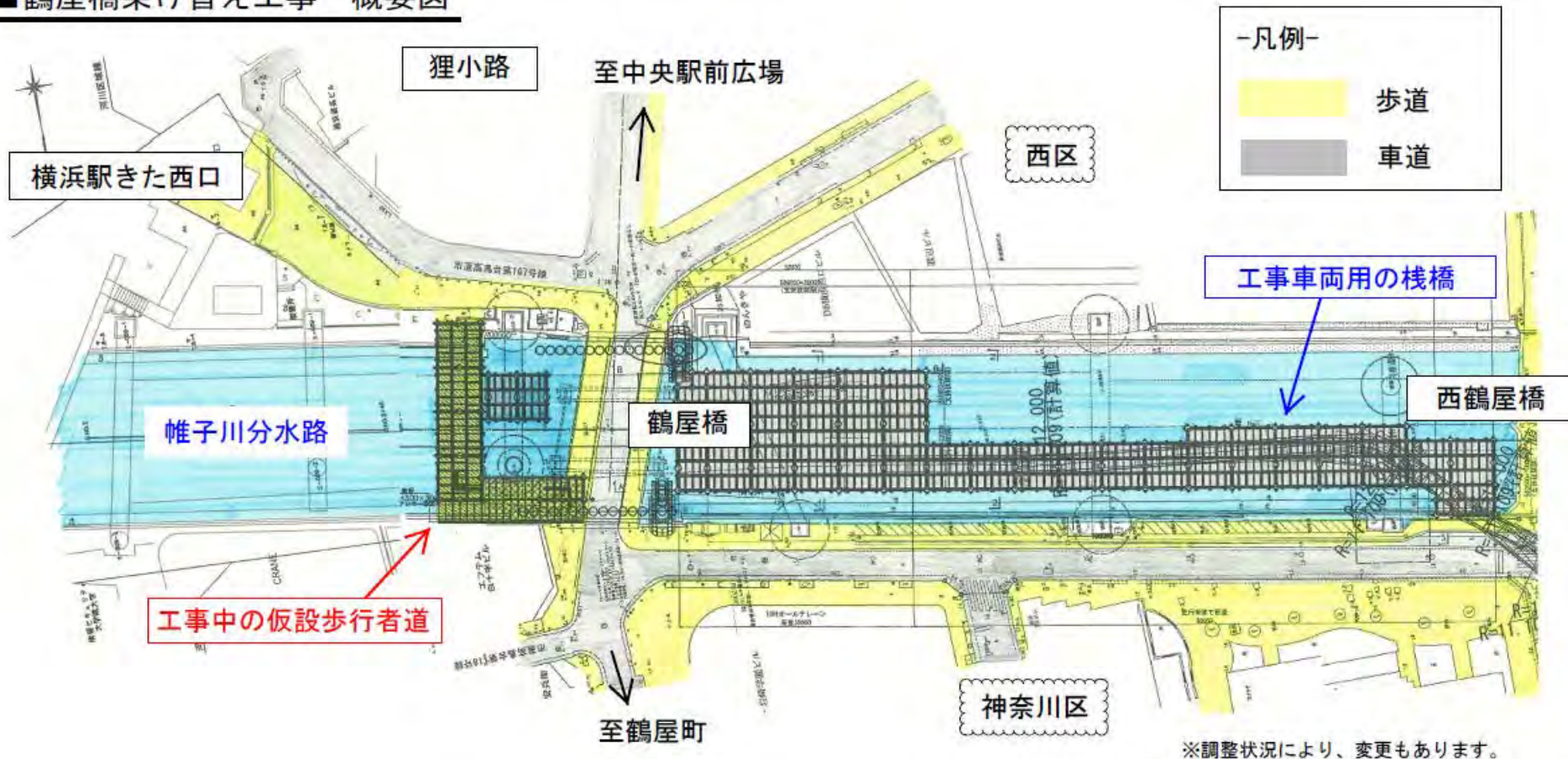


### (計画)



# ③ 鶴屋橋架け替え工事

## ■ 鶴屋橋架け替え工事 概要図



# ③ 鶴屋橋架け替え工事

○鶴屋橋架け替え工事 概略工程表

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月
支障物件移設 関係者協議	.....→						車両通行止め期間							
支障物件移設工事		————→												
仮設栈橋設置工事 (歩行者通路など)					————→									
橋りょう本体工事等							.....————→							

## ④ インフラ基本計画の策定

### エキサイトよこはま22 基盤整備の基本方針

「まちの将来像」の実現に向けて重要となる基盤施設の整備を進めていくための基本的な方針を示したもの

基本的な考え方：民間開発とインフラの一体的な整備

#### 社会的事象

平成32年  
東京オリンピック

平成39年  
中央新幹線  
(リニア)  
(品川～名古屋)  
開業

「エキサイトよこはま22」の計画実現に向けた優先的な取り組みの方向性

羽田空港国際化  
への対応

災害安全性  
への対応

民間開発と連携した  
基盤整備

中期に想定される  
民間開発

- ・(仮称)横浜駅西口駅ビル
- ・横浜駅きた西口鶴屋地区
- ・ステーションオアシス地区
- ・横浜駅西口(幸栄)地区
- ・横浜駅西口五番街地区
- ・出島地区

## インフラ基本計画

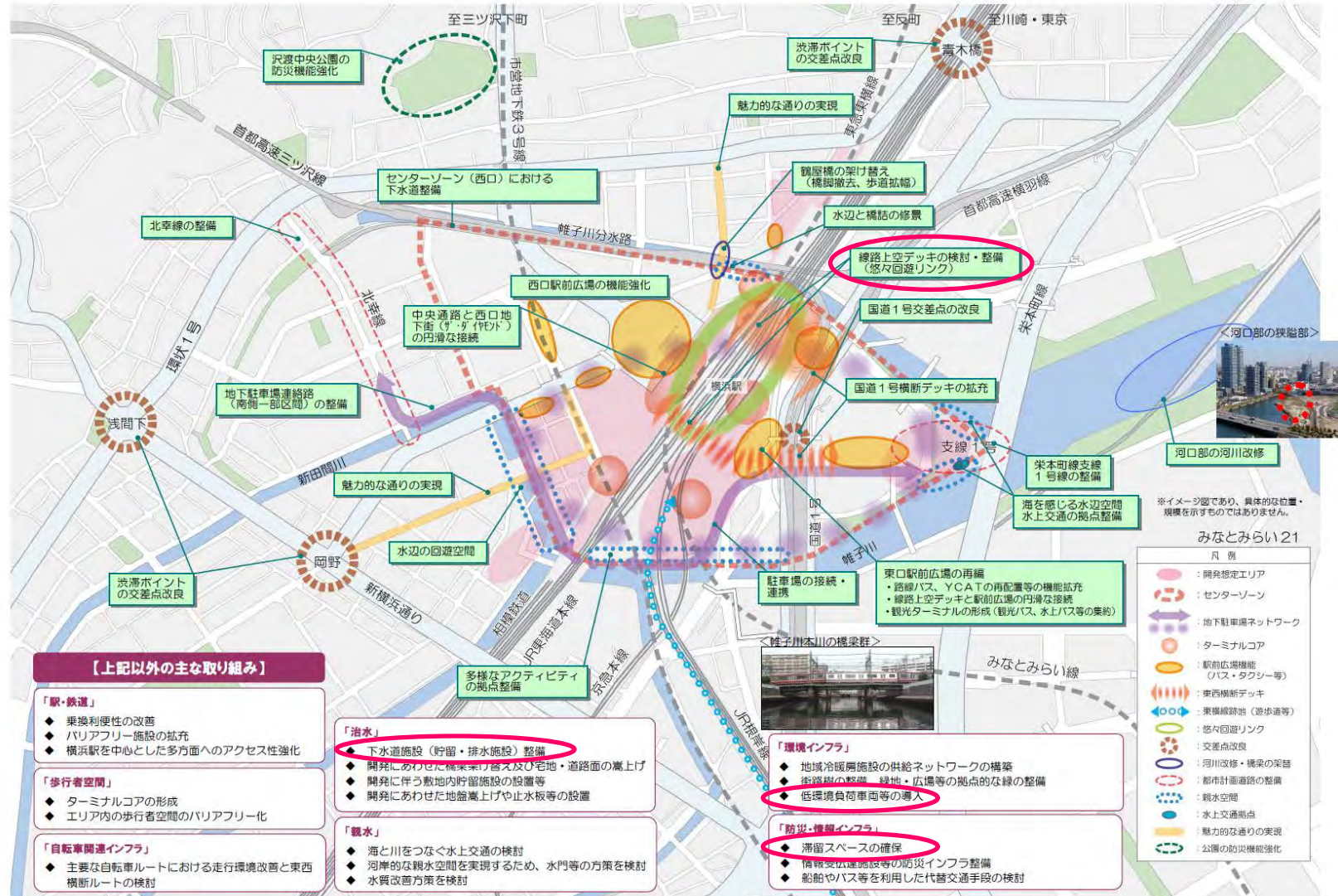
「基盤整備の基本方針」に基づき、「基盤の全体像」  
および「中期的な取り組み(概ね4～5年以内に具体的な検討に着手)」を示したもの



# ④ インフラ基本計画の策定 (基盤整備の基本方針に基づく「基盤整備の全体像」)

羽田空港の国際化や東日本大震災の発生等、横浜駅周辺を取り巻く状況と背景を踏まえ、

- 計画の具体化として、「線路上空デッキ（悠々回遊リンク）の検討・整備」
- 防災の視点として、「滞留スペースの確保」等を位置付けました。



- 【上記以外の主な取り組み】**
- 「駅・鉄道」**
    - ◆ 乗換利便性の改善
    - ◆ バリアフリー施設の拡充
    - ◆ 横浜駅を中心とした多方面へのアクセシビリティ強化
  - 「歩行者空間」**
    - ◆ ターミナルコアの形成
    - ◆ エリア内の歩行者空間のバリアフリー化
  - 「自転車関連インフラ」**
    - ◆ 主要な自転車ルートにおける走行環境改善と東西横断ルートの検討

- 「治水」**
  - ◆ **下水道施設（貯留・排水施設）整備**
  - ◆ 開発にあわせて商業系リネオス及び宅地、道路面の嵩上げ
  - ◆ 開発に伴う敷地内貯留施設の設置等
  - ◆ 開発にあわせて地盤嵩上げや止水板等の設置
- 「親水」**
  - ◆ 海と川をつなぐ水上交通の検討
  - ◆ 河岸的な親水空間を実現するため、水門等の方策を検討
  - ◆ 水質改善方策を検討

- 「環境インフラ」**
  - ◆ 地域冷暖房施設の供給ネットワークの構築
  - ◆ 街路樹の整備、緑地・広場等の拠点的な緑の整備
  - ◆ **低環境負荷車両等の導入**
- 「防災・備蓄インフラ」**
  - ◆ **滞留スペースの確保**
  - ◆ 情報受信施設等の防災インフラ整備
  - ◆ 船舶やバス等を利用した代替交通手段の検討

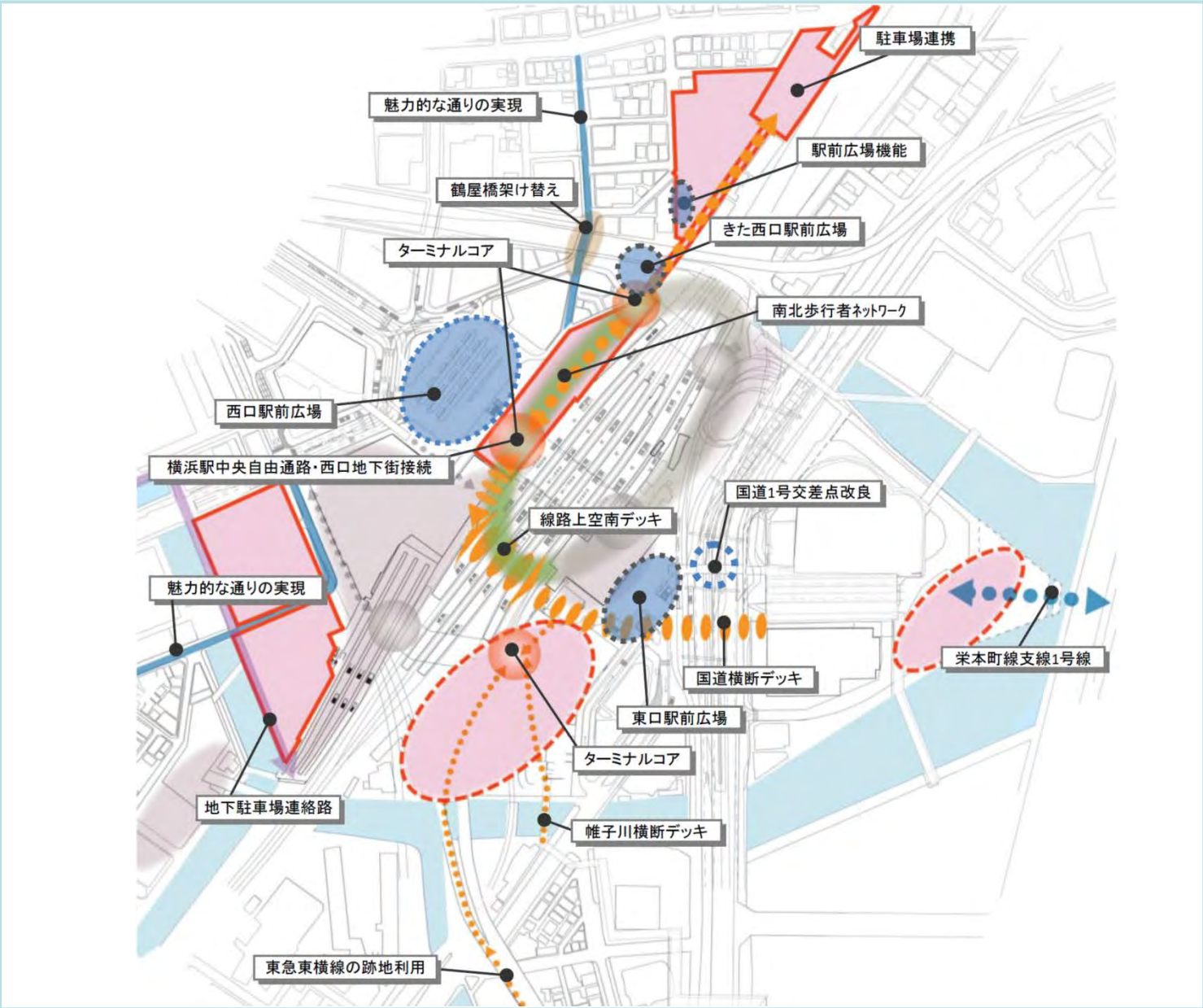
みなとみらい21 凡例

- 開発想定エリア
- センターゾーン
- 地下駐車場ネットワーク
- ターミナルコア
- 駅前広場機能 (バス・タクシー等)
- 東西横断デッキ
- 東横線跡地 (遊歩道等)
- 悠々回遊リンク
- 交差点改良
- 都市計画道路の整備
- 親水空間
- 水上交通拠点
- 魅力的な通りの実現
- 公園の防災機能強化

## ④ インフラ基本計画の策定（中期に想定される民間開発）



# ④ インフラ基本計画の策定 (中期に想定される民間開発と連携して整備する基盤施設)



# ⑤ 駐車場整備ルールの対象範囲の拡大

「エキサイトよこはま22駐車場整備ルール（平成22年8月）」

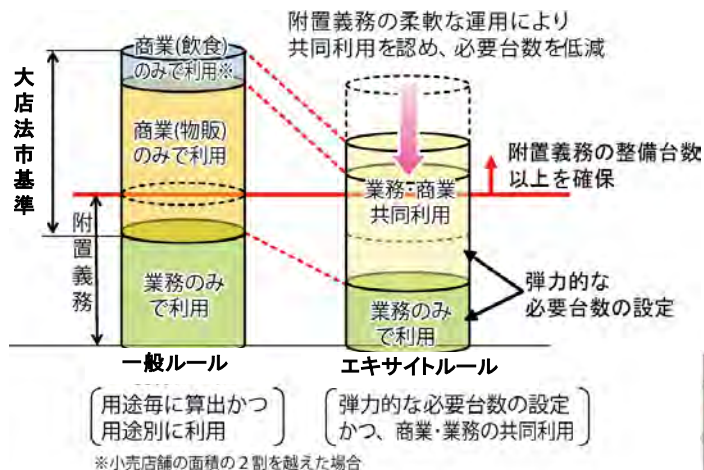
- ・ルール：駐車場整備台数の弾力的な設定が可能（図-①）
- ・対象範囲：センターゾーン

- ・駐車場利用状況の検証：エリア全体として、空き駐車場が多く利用率が低い。
- ・現行ルールでの駐車場整備：必要以上の駐車場を整備する恐れがある。

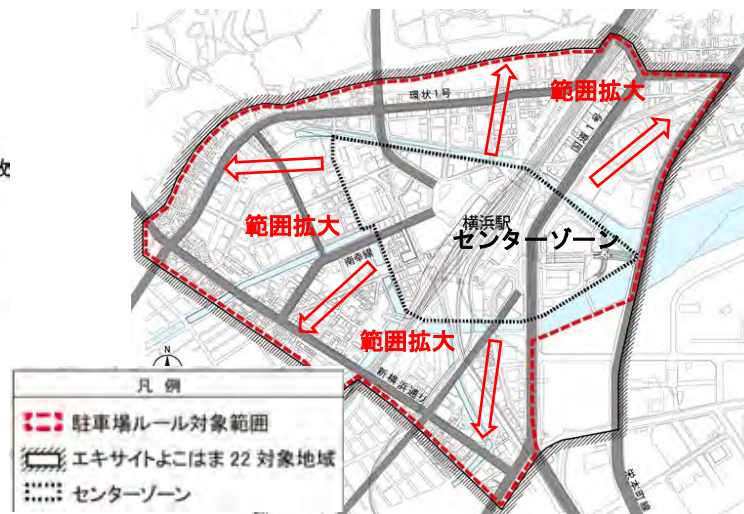
地域の実情に合った、効率的な駐車場整備をさらに進めるため、  
「駐車場整備ルール」の対象範囲を拡大（平成26年4月運用開始）（図-②）

土地の有効活用や老朽化した建築物の建替えや再開発の促進を図る。

＜図-① 駐車場整備台数の弾力的な設定＞



＜図-② 駐車場整備ルール対象エリア＞



## ⑥ 都市再生安全確保計画の策定

### ◇ 都市再生安全確保計画 ◇

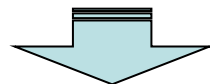
大地震発生に備え、退避経路、退避施設、備蓄倉庫等(都市再生安全確保施設)の整備・管理や退避施設への誘導、災害情報・交通情報の提供、備蓄物資の提供、避難訓練等について定めた計画

⇒ 駅周辺事業者、鉄道事業者、自治会・町内会、警察、横浜市等が一体となり、滞留者・帰宅困難者対策や、津波発生時の避難対策等の検討を進め、平成26年3月に策定



### ■ 計画の目標

- 行政、民間事業者等が実施・検討している防災・減災の取組を連携
- 地震・津波発生時におけるハード対策・ソフト対策により災害リスクを回避



以上の2点を目標に、「発災時の混乱を抑え、来街者の命を守ること」、「誰もが安全・安心を実感できる国際交流都市」を目指す

## ⑥ 都市再生安全確保計画の策定

### ■ 計画の概要

#### ○課題解決に向けた基本方針と取組内容

発災時の運営体制、滞留者等対応、避難誘導、備蓄に関する取組等を記載

#### ○都市再生安全確保施設の整備・管理

帰宅困難者一時滞在施設、津波避難施設、退避経路等の整備・管理を記載

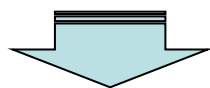
#### ○行政、民間事業者、鉄道事業者の災害時の行動計画

鉄道・駅周辺事業者、帰宅困難者一時滞在施設管理者、横浜市ごとに、滞留者等の安全確保に必要な災害時の対応を、時系列ごとに記載

### ■ 今年度以降の方針

#### ○関係者等への計画の周知、計画に基づく訓練の実施・検証

#### ○都市再生安全確保施設等の整備に係る検討



以上の取組等を通じて、より実効性のある計画となるよう更新・見直しを実施

## ⑦ エリアマネジメントの取組

### ○エキサイトよこはまエリアマネジメント協議会の取組

- ・ 防災・防犯活動として、TICAD V安全安心パトロール、普通救命講習、水難救助訓練を実施したほか、河川浄化活動の一環として水質調査活動等を実施
- ・ エキサイトよこはまエリアマネジメント協議会の財源確保や今後の組織体制に係る検討及び他都市のエリアマネジメント組織との意見交換会を実施

【普通救命講習】



【水難救助訓練】



【TICAD V 安全安心パトロール】



【水質調査活動】

## ⑧ 国家戦略特区

グローバル企業を多数誘致し、横浜都心部を、国際的なビジネス拠点としていきます。

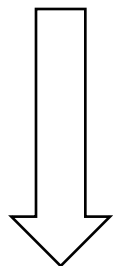
### ■ 横浜市 の提案

横浜駅周辺地区等の商住共存地区において、高規格住宅を整備する場合は、そのための住宅容積300%分を特別に加算できる制度を創設する。

### ■ 今後の予定

○ 区域会議 国・県・市などで構成。

※事業を実施する事業者（予定）を構成員に加える。



○ 区域計画を策定し、住宅用途の容積率の最高限度等を決定（センターゾーンを除く商住共存地区）。

※その後、容積バンク制度も合わせて検討（横浜市独自）



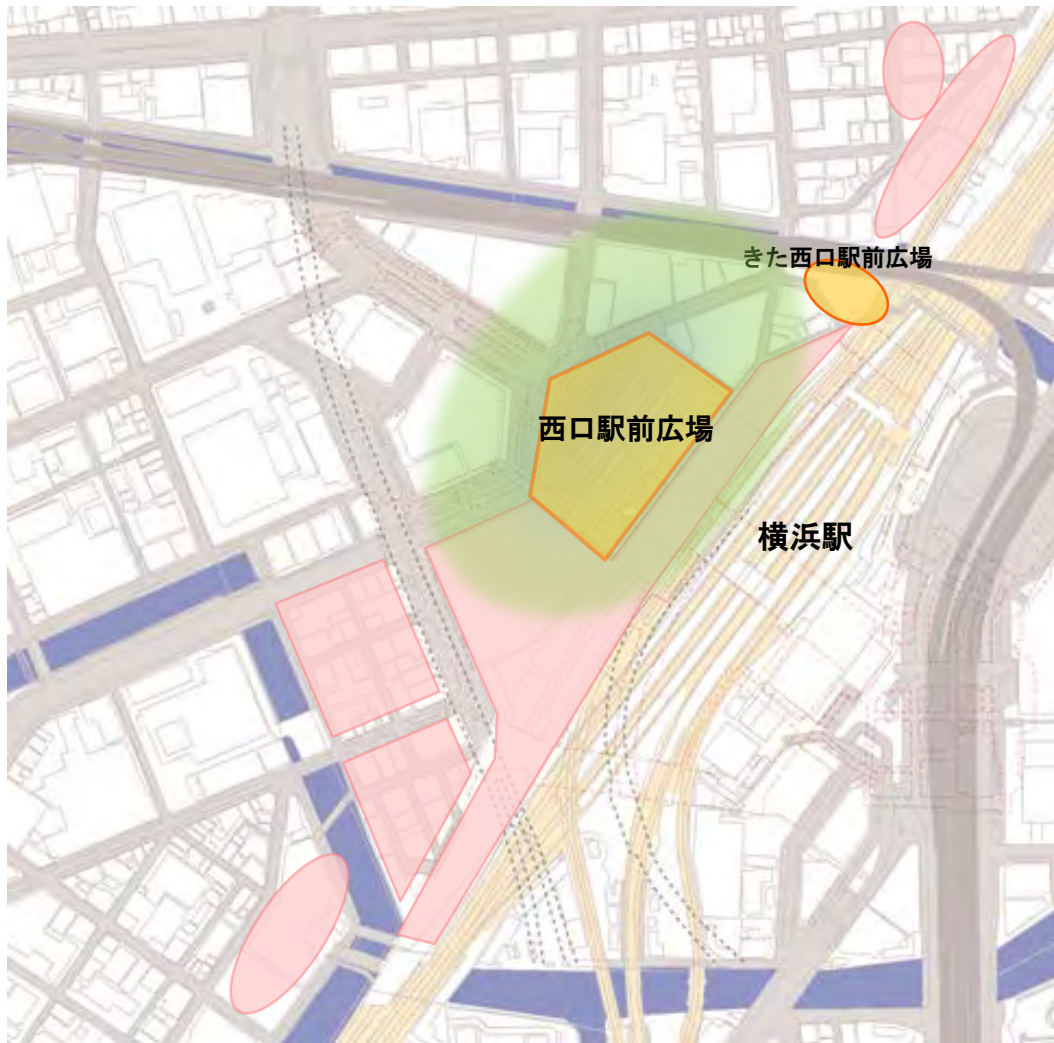


# 平成26年度以降の取組・検討事項

- a 西口のまちづくり
- b 東口のまちづくり
- c エリアマネジメントの展開

# a 西口のまちづくり

横浜駅西口駅ビル計画（リーディングプロジェクト）の先を見据えた、将来の横浜駅西口駅前の顔づくりについて地元関係者や専門家を交えた検討体制を構築



## 《検討項目》

- ・ 駅前広場機能の拡充・再編
- ・ 西口駅前広場隣接街区のまちづくり誘導計画の策定

(環境分野、防災・防犯分野、景観分野、歩行者・親水空間分野、交通環境分野)

## 《検討の進め方》

関係者において検討会を立ち上げ、検討を行う。

平成26年度 検討会立ち上げ  
平成27年度 取りまとめ

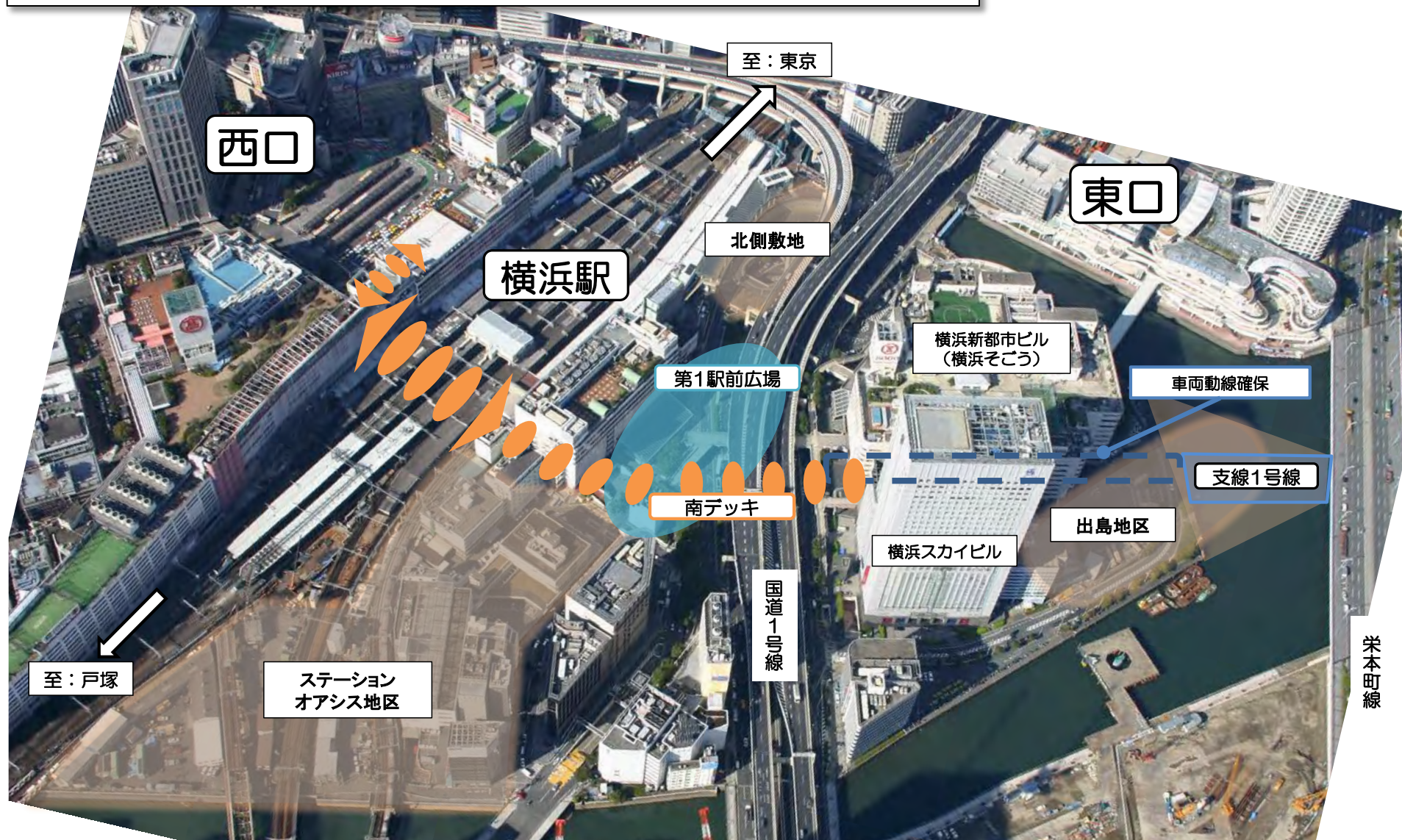
## 《EXY22 基盤整備の基本方針》

- 駅前広場
- 開発想定エリア

検討エリア

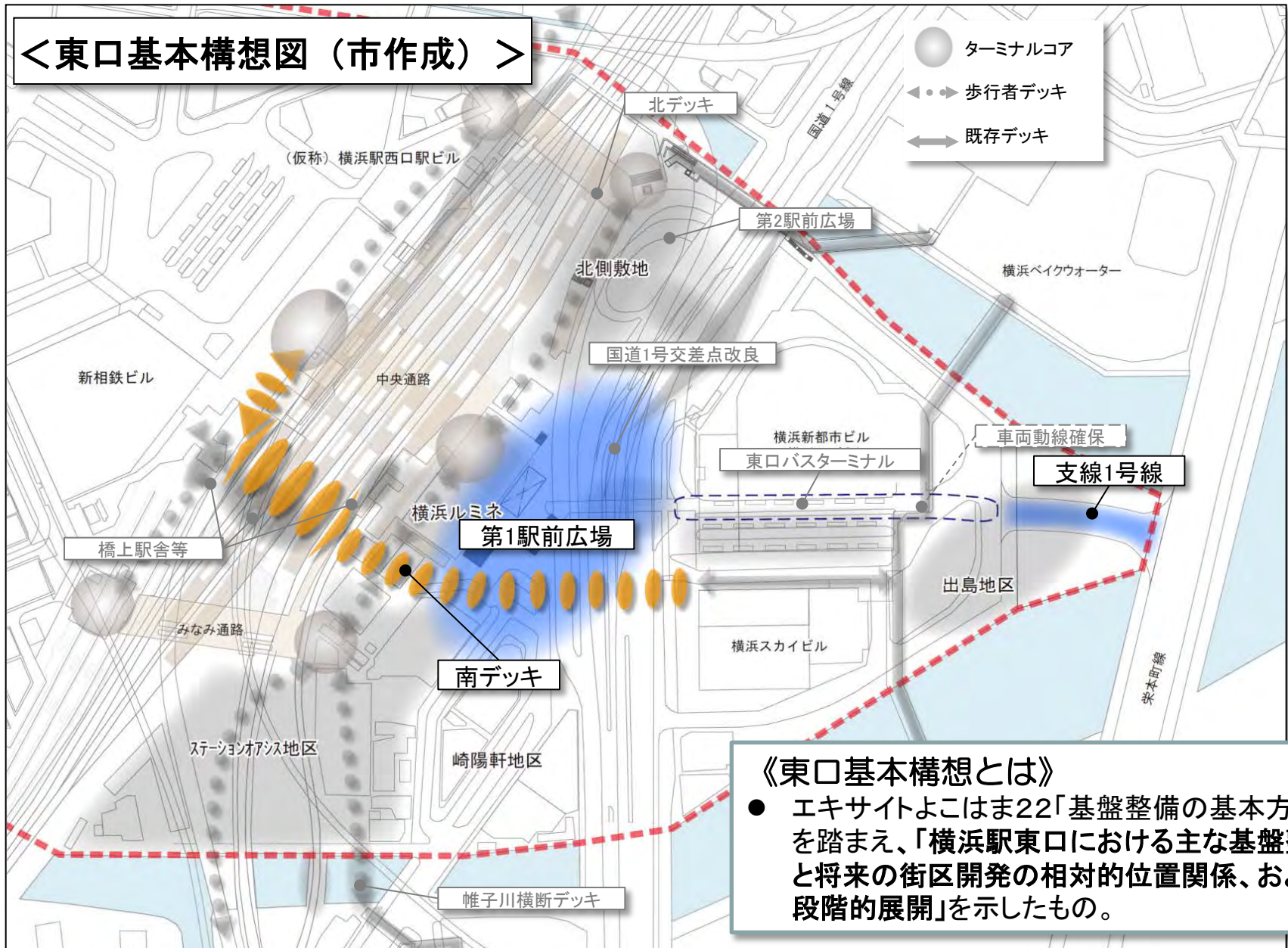
## b 東口のまちづくり

<想定される街区開発と主な基盤整備の位置関係(市作成)>



※イメージ図であり、具体的な位置規模を示すものではありません

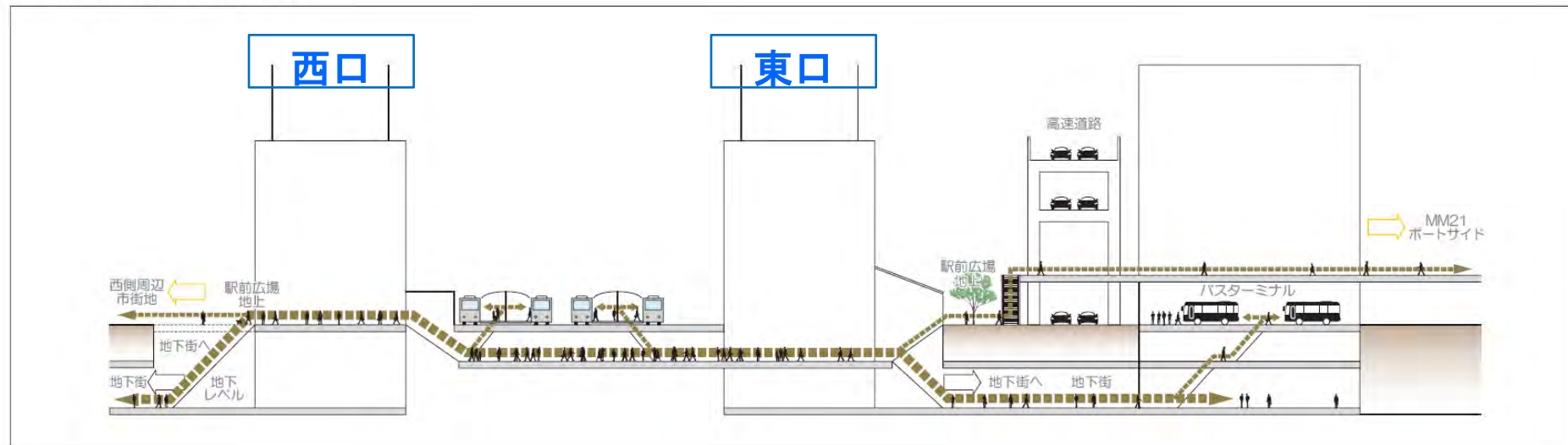
# b 東口のまちづくり



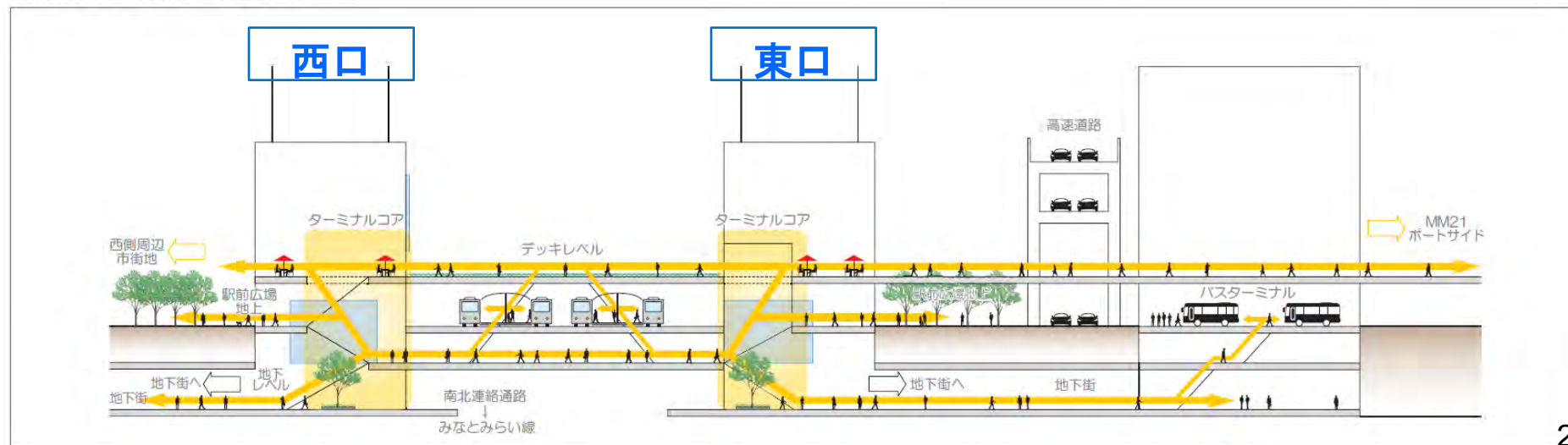
# 東口のまちづくり

## <立体的な歩行者ネットワーク概念図（市作成）>

【現状の主な歩行者動線（概念図）】



【将来の主な歩行者動線（概念図）】



## c エリアマネジメントの展開

### 1 横浜駅周辺の地域まちづくり組織の取組

○駅の東西で、民間組織による取組が展開されています。

- ・案内マップの作成
- ・公式HP運営
- ・駅前広場公衆トイレの定期清掃
- ・駅周辺案内サインの維持管理
- ・西区主催の各活動への参加

⇒一方、安定的な活動財源の確保が課題

### 2 他地区の事例

(1) 大阪市エリアマネジメント活動促進条例（平成26年2月）

⇒都市再生特別措置法上の協定制度をベースに、  
大阪市が地区内から法に基づく分担金を徴収し、  
エリマネ団体に整備費等として交付する制度

### 2 他地区の事例（つづき）

#### (2) みなとみらい地区（公開空地の活用）

⇒公開空地の活用に関する制度改正（平成25年9月）により、  
エリアマネジメント団体によるオープンカフェ等を実施

#### (3) 桜木町駅前広場

⇒イベントスペースを設け、路上イベントを実施。

⇒エリマネ団体が主催する公共性のあるイベントは、  
料金を減免

※昨年度、エキサイトよこはまエリアマネジメント協議会でも公共  
空間を活用した賑わい創出のための社会実験を実施。

他都市等の事例や試行結果を踏まえて様々な角度から、財源確保の検討  
が重要

## c エリアマネジメントの展開

### 3 エキサイトよこはまエリアマネジメント協議会

- まちの価値向上に向けた活動の検討を行います。
- まちづくり活動の実施と検証を行います。
- エリマネ活動を支えるための財源確保の検討を行います。

### 4 エリアマネジメントの展開状況

- 地域の活性化とまちの価値向上を目指す具体的な動きが駅の東西で活発化しています。
- ⇒（仮称）横浜駅東口はまテラス有効活用委員会において、公開空地の活用を検討しています。
- ⇒西口でも（仮称）横浜西口元気プロジェクト実行委員会の組織化と賑い創出の取組みの検討が進められています。
- ・ 地域や民間が主導するエリアマネジメント活動が活発化しています。
- ・ 横浜駅周辺では、検討・検証の段階から、地域主導の実践・展開の段階に進んでいます。